

令和3年度分

泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

PDCA サイクル 進捗管理シート

令和 3 年度分	担当課	農林水産課
----------	-----	-------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	農業等の振興
具体的施策	①地域資源を活かした産業振興と創業支援
事業名	泉佐野産（もん）普及促進事業
事業概要	【最終予算額： 8,548,000円】 【決算額： 3,593,000円】
	泉佐野で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシピを基に、6次産業化に資するレシピを商品化し、地場野菜のブランド化と6次産業化の促進を行う。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 農商工連携または6次産業化に取り組む企業・団体・農業者数									
		KPI： 5年間で9者へ増加									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	7者	7者	7者	8者	8者	9者			
		実績値	7者	7者					単年度計	↑	
		達成度	100%	100%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		この数値の把握により、市域で生産された農林水産物の販売ルートや販売量の拡大につながる動きが進展し、地産地消の関心の高まりを示す指標となると考えられるため									
		事業で当市産を使ったメニューを開発し、公表することで市内外の飲食店での活用を促し、さらなる農商工連携を図る。連携はこの5年間で2者の増加を把握しているため目標とした。									
		②目標事項：									
		KPI：									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】	
		担当課評価	令和3年度は、昨年度に引き続き、市内の特産品である松波キャベツと免疫力を高める酒粕とを組み合わせたメニューを提供していただく取り組みをホテル日航関西空港で実施した。また、松波キャベツを使ったレシピを樟蔭女子大学の学生に考案していただき、そのレシピをもとにした料理を上記ホテル日航関西空港にて提供。これらの取り組みはラジオや新聞、雑誌、webメディアで取り上げられ、泉佐野産野菜の価値向上につながった。
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】	
		令和4年度は引き続き、市内のホテル棟の協力を得たうえで、泉佐野産食材を使ったメニューの提供をしていくことで、泉佐野産食材の更なるブランド化、6次産業化を目指す。	
委員会意見	【評価等に対する意見】		
	委員会評価		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	おもてなし課
----------	-----	--------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	しごとの創生
具体的施策	②企業誘致
事業名	企業誘致奨励金事業
事業概要	【最終予算額： 88,847,000円】 【決算額： 80,356,800円】 市の発展と雇用の増大を図るなど、市民福祉の向上のため、市内に新たに事業所を建設・設置される方（企業）で、一定条件を満たす場合に奨励金を交付する。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 企業誘致奨励金交付企業数									
		KPI： 5年後に25社									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	15社	17社	19社	21社	23社	25社			
		実績値	15社	17社					累計	↑	
		達成度	100%	100.0%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		交付企業数が増えることで、事業目的の達成につながるため。					過去5年で6社の増加（年1.2社）となっており、さらなる上昇値（年2社）を目標とする。				
		②目標事項： 上記企業の新規雇用者数									
		KPI： 5年後に739人									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	614人	639人	664人	689人	714人	739人			
		実績値	614人	1,142人					累計	↑	
		達成度	100%	178.7%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
新規雇用者数が増えることで、事業目的の達成につながるため。					過去5年で101人の増加（年20.2人）となっており、さらなる上昇値（年25人）を目標とする。						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課評価 <b>B</b>	KPIについて、交付企業数は、目標通りであり、新規雇用者数が、目標を大きく上回った。ただし、新規雇用者数は、交付先企業が大型商業施設であったという外形的要因によるものであったため、進捗状況としては、ほぼ目標通りに進捗していると判断する。
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】 企業誘致については、新型コロナウイルスの感染状況や経済情勢に大きく左右されるところであるが、本市の立地や産業集積状況等を踏まえ、ビジネスチャンスとなるであろう企業に本市の魅力や魅力を的確に伝えるとともに、雇用面等本市にとって大きな効果の期待が出来る産業分野を中心に、企業の発掘・誘致を進めていく。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	ふるさと創生課
----------	-----	---------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	官民連携の推進
具体的施策	②企業誘致
事業名	地場産品創出支援事業
事業概要	【最終予算額：152,184,000円】 【決算額：152,184,000円】 企業と地方と寄附者をつなぐ「#ふるさと納税3.0」を利用して企業から新たな地場産品の提案を受けてクラウドファンディング（ふるさと納税）のプロジェクトを実施する。寄附目標額が達成した場合は正式に誘致し、寄附金を原資に生産拠点の整備費用となる補助金を交付する。そこで生産された地場産品をふるさと納税の返礼品として届けていくという企業誘致の新しいカタチである。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 補助金を交付し、企業誘致が達成した件数									
		KPI： 年間9件									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	9件	9件	9件	9件	9件	単年度計	→	
		実績値	—	2件							
		達成度	—	22%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		民間企業の新たな投資が対象であり、不安定な要素はあるが令和2年度の実績を根拠とする。					令和2年度に実施しているプロジェクトの中で補助金を交付し、ふるさと納税で返礼品を提供される実績を根拠とする。				
		②目標事項： 新規提案を受付、CFを実施し、補助金を交付する予定事業の件数									
		KPI： 年間9件									
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値		9件	9件	9件	9件	9件	累計	→			
実績値		13件									
達成度		144%									
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
民間企業の新たな投資が対象であり、不安定な要素はあるが令和2年度の実績を根拠とする。					令和2年度に実施しているプロジェクトの中で補助金を交付し、ふるさと納税で返礼品を提供される実績を根拠としていたが、事業が年度を超えて実施されるといった実情に合わせて補助金の交付予定の件数を新たな根拠とする。						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課評価 <b>A</b>	令和3年度においては、昨年度の「新たな地場産品創出はハードルが高い」という事業者の声を反映し、新たに中小企業者支援事業を追加設定し、より一層の施策の活用促進を図った。一方、事業が大型化（ヤッホーブルーイング大阪ブルワリー（仮称）創造プロジェクトなど）、年度内に事業が完了しないケースが増えてきたので、新たに中小企業者支援事業を含む交付予定件数のKPIを追加することとした。
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】 昨年度の反省点としては、CF開始が遅れたことにより、単年度でCFが完結出来なかった案件もある為、令和4年については、最も寄附の集まるスケジュールの周知徹底を図り、効率よく事業を推進して参りたい。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分		担当課	まちの活性課								
基本目標	① 安定した雇用を創出する										
基本的方向	しごとの創生										
具体的施策	③地域産業の競争力強化										
事業名	エリアマネジメント活動推進事業										
事業概要	【最終予算額： 36,784,000 円】   【決算額： 36,784,000 円】										
	泉佐野市の中心市街地の活性化を図るため、中心市街地のエリアマネジメントの推進と、女性等の社会進出のサポートを通じた中心市街地エリアにある遊休不動産の活用、商店街への人が集う仕組みの構築、商店街をはじめとする中心市街地の再生に取り組むもの。										
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 遊休不動産を活用して新たに事業開始した件数									
		KPI： 5年後に13件（10件の増加）									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	2件	6件	8件	10件	11件	13件	累計	↑	
		実績値	3件	6件							
		達成度	150.0%	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
		中心市街地エリアの遊休不動産解消件数が、中心市街地の活性化に直結するものと考えているため				中心市街地エリア内にある遊休不動産で、大幅な改修工事を必要としない物件の件数（132件）のうち、活用できる物件の1割を設定					
		②目標事項： 女性等の社会進出支援人数									
		KPI： 5年後に150人									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	10人	60人	80人	100人	120人	150人	累計	↑	
		実績値	0人	108人							
		達成度	0.0%	180.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
女性等の非労働力人口から労働人口へ移行した人数は、地域経済への貢献度を示す数値と考えているため				単年度の支援（セミナー等の参加など）人数：40人の半数を目標として社会進出支援につなげることを目標に設定							
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価	中心市街地の活性化を図るために、遊休不動産の活用や起業希望の女性をターゲットとしたセミナーやワークショップを積極的に行った。また「つむぎやアメニティー」を立ち上げ、女性起業家の育成にも努めた。								
		B									
令和3年度	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
		6月より空き店舗等活用型新事業創出支援補助金の申請・審査を受託する。また引き続き女性の社会進出を推進するため、ワークショップやコーチングを行い、対象者同士のコミュニティ形成もめざしていく。									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分		担当課	まちの活性課							
基本目標	① 安定した雇用を創出する									
基本的方向	しごとの創生									
具体的施策	④就労支援									
事業名	地域就労支援事業									
事業概要	【最終予算額：743,000円】 【決算額：4,000円】									
	働く意欲がありながら雇用や就労を実現できない就職困難者等に対し、地域就労支援事業の活用、相談、資格取得講座への誘導等を行い、一人でも多くの就労の実現に向けて支援をする。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 就労相談を受けた就労希望者及び市実施就労支援事業参加者のうち就労に結びついた就労者数								
		KPI： 年間25人								
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	25人	25人	25人	25人	25人	25人	→	
		実績値	14人	9人						
		達成度	56%	36%						
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		就労支援事業の最終目標は、就職困難者、就労希望者等を就労に結びつけることであることから、当該成果指標とした。				経済情勢の影響が大きいため、一定数確保することを目標とする。				
		②目標事項：								
		KPI：								
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値								
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
③目標事項：										
KPI：										
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値										
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】								
		担当課評価	市内3か所にある地域就労支援センターにおいて、就労相談を実施しており、就労者数はR元年度が14人、R3年度が9人と減少した。							
	C									
令和3年度	改善（A）	【4年度における取り組みなど】								
		相談者の状況に応じた、きめ細やかな支援ができるメニューを提供していく。								
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】								
		委員会評価								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	人材還流・人材育成
具体的施策	④就労支援
事業名	地域課題解決型就職氷河期世代就労支援事業
事業概要	【最終予算額： 29,952,000円】 【決算額： 29,712,000円】
	雇用環境が厳しい時期に就職活動を行い、現在も様々な課題に直面している方々の就業を支援する。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 当該事業により就労に結びついた人数（就職氷河期世代に該当する者のみ）									
		KPI： 2年間で26人									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	10人	16人				累計	↑	
		実績値	—	13人							
		達成度	—	130.0%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		当該事業の最終目標は、就職氷河期世代に該当する就職困難者等を就労に結びつけることであることから、当該成果指標とした。					2年間、重点的に実施する。初年度は50名程度の事業参加者を対象に、そのうち20%を就労に繋げたい。その後、就労支援の産業分野を拡大し、年間6名の増加を図る。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価 (C)	【3年度評価】									
		担当課評価	事業初年度であったので農業分野に絞った取り組みを行った。相談に来られた55名のうち、46名が農作業を通じ「稼ぎながら学ぶ」就労体験に参加し、令和3年度中に13名が就労に結びついた。（現在も就労体験を通じた就労支援は継続中。）								
		B									
令和3年度	改善 (A)	【4年度における取り組みなど】									
		令和4年は農業分野に加えて、製造（タオル）分野や介護福祉分野を追加し、大阪タオル工業組合の協力によりタオルハム加工の技術習得を目指す研修や社会福祉法人と連携し福祉現場での研修を実施予定である。より幅広い就労体験を通して対象者に合った就労支援を行っていく。									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	人材還流・人材育成
具体的施策	⑤人材育成・雇用機会の拡充
事業名	外国人受入環境整備事業
事業概要	【最終予算額：28,637,000 円】 【決算額：24,283,450 円】 市内在住する外国人材の労働環境及び日常生活における多文化共生社会の実現に向けたワンストップ相談窓口の設置、及び人材不足が喫緊の課題となっている業種への優良な外国人材の確保・育成を通じた雇用マッチング、地域社会の交流支援などを実施するもの。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 外国人就労者あっせん数																																
		KPI： 5年後に60人																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>20人</td> <td>30人</td> <td>40人</td> <td>50人</td> <td>60人</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↗</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	20人	30人	40人	50人	60人	累計	↗	実績値	—	—	—	—	—	—	達成度	—	—	—	—	—	—
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	—	20人	30人	40人	50人		60人	累計	↗																							
		実績値	—	—	—	—	—	—																										
		達成度	—	—	—	—	—	—																										
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		日常生活を安心して営むにおいて、外国人材の雇用を確保できたか判断するに当たっての指標と考えるため	1年間に10人以上のあっせんを目標として事業設計を行っていることより																															
		②目標事項： 施設の利用者数																																
KPI： 5年後に750人																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>150人</td> <td>300人</td> <td>450人</td> <td>600人</td> <td>750人</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↗</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	150人	300人	450人	600人	750人	累計	↗	実績値	—	—	—	—	—	—	達成度	—	—	—	—	—	—		
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	—	150人	300人	450人	600人		750人	累計	↗																									
実績値	—	—	—	—	—	—																												
達成度	—	—	—	—	—	—																												
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
外国人材の相談者数は多文化共生社会の実現に向けた課題を早期発見する場所として、外国人材からの拠点の認知度と、外国人材の相談内容を通じて、必要な施策を展開や制度の創設が発掘でき、本事業の目的を達成するのに必要な指標であると考えため	初年度は施設稼働日数の半分を目標としており、その後同数以上の利用者数の増加を目標に事業設計しているため																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値						達成度									
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】 担当課評価 C 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、対象とする外国人就労者の来日が困難となり、実績に繋がらなかった。そのような状況ではあったが、コロナ後を見据え、関連施設の視察などを積極的に行った。																																
		改善(A) 【4年度における取り組みなど】 新型コロナウイルス感染症の感染状況や、国の動向を見ながらの対応になるが、水際対策が緩和されることを見据え、外国人技能実習生や特定技能者の受入れ等を検討している。																																
		委員会意見 【評価等に対する意見】 委員会評価																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



令和 3 年度分	担当課	都市計画課
----------	-----	-------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	都市魅力の創出・発信
具体的施策	①定住・移住の促進
事業名	住宅総合助成事業
事業概要	【最終予算額：48,000,000円】 【決算額：36,000,000円】
	○住宅総合助成事業…本市で自ら居住する住宅を建替える場合や、新築住宅を購入し居住する場合に、町会・自治会に加入する方に泉佐野ポイントカード「さのぼ」に地域ポイントを付与するもの。 ○空家バンク制度…本市に定住希望する方に対し、登録条件を満たした空家の情報提供をし当該住宅を購入又は賃貸する場合に、町会・自治会加入を条件として、泉佐野ポイントカード「さのぼ」に地域ポイントを付与するもの。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 住宅総合助成事業による泉佐野ポイントの付与件数																																
		KPI： 5年間で800件																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>208件</td> <td>520件</td> <td>680件</td> <td>840件</td> <td>1,000件</td> <td>1,160件</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↑</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>208件</td> <td>530件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>101.9%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	208件	520件	680件	840件	1,000件	1,160件	累計	↑	実績値	208件	530件					達成度	100%	101.9%				
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	208件	520件	680件	840件	1,000件		1,160件	累計	↑																							
		実績値	208件	530件																														
		達成度	100%	101.9%																														
		KPI設定の根拠	<p>本市の定住・移住促進施策である「住宅総合助成制度」は、地域コミュニティの維持強化を促進する町会加入を要件とし、本制度の利用者数が定住・移住者数及び町会加入者数に直結することから、この数値を指標とするもの。</p>	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>平成27年度から平成31年度の間で新築住宅又は空家バンクに登録された中古住宅を購入し、本市に定住された実績は230件/年となっている。町会加入を条件とし、加入率を5年間の平均で70%（現在58%で、5年後に80%目標）で設定230件/年×70%≒160件/年</p>																														
		②目標事項： 空き家バンクに登録された物件数																																
		KPI： 5年間で125件																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>103件</td> <td>148件</td> <td>173件</td> <td>198件</td> <td>223件</td> <td>248件</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↑</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>103件</td> <td>137件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>92.6%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	103件	148件	173件	198件	223件	248件	累計	↑	実績値	103件	137件					達成度	100%	92.6%						
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	103件	148件	173件	198件	223件		248件	累計	↑																									
実績値	103件	137件																																
達成度	100%	92.6%																																
KPI設定の根拠	<p>空家（中古住宅）の利活用を目的とする本制度は、市が空家情報を発信し、売買契約が成立することにより、定住・移住者数の増加に直結することから、当該登録件数を指標とするもの。</p>	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>泉佐野市空家等対策計画の評価指標において、平成27年度から平成34年度の8年間で200件を設定している。200件/8年=25件/年</p>																																
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値						達成度									
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠																																		
評価(C)	<p>【3年度評価】</p> <p>担当課評価</p> <p><b>B</b></p> <p>平成27年5月からはじめた住宅総合助成事業は、令和2年度に町会加入を要件に追加し、KPIの見直しを行った。その結果、この2カ年では目標値を上回っているが、令和2年度から令和3年度にかけてやや減少傾向にあった。空き家バンク制度についても、令和2年度から令和3年度にかけて減少傾向にあり、目標値をやや下回った。</p>																																	
令和3年度	改善(A)	<p>【4年度における取り組みなど】</p> <p>令和4年度から、新たに地域経済の活性化を目的に追加し、町会加入の要件を無くし、申請件数のさらなる増加を見込み、それに伴う予算措置を行っている。</p>																																
	委員会意見	<p>【評価等に対する意見】</p> <p>委員会評価</p>																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	②観光による交流人口の拡充
事業名	観光振興事業
事業概要	【最終予算額：109,759,000円】 【決算額：76,313,000円】
	訪日外国人旅行者に対する受入環境整備や地域の伝統文化の継承、市民団体等の主催イベントへの支援、公式キャラクターによるシティプロモーション、広域連携による誘客促進など、関空の対岸という地理的優位性と交通便利性の強みを活かしたエリアの魅力創出あるいは周辺地域への出発地あるいは中継地としての機能強化を図ることで、国内外からのさらなる誘客を促進し、観光関連産業の活性化に取り組む。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 市内の年間延べ宿泊者数																																
		KPI： 5年後に212万人/年																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年)</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R5年</th> <th>R6年</th> <th>R7年</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>189万人</td> <td>106万人</td> <td>161万人</td> <td>200万人</td> <td>206万人</td> <td>212万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3">他の統計調査に合わせて暦年値にしている</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>189万人</td> <td>51万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>48.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	189万人	106万人	161万人	200万人	206万人	212万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている	実績値	189万人	51万人					達成度	100%	48.1%				
		現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	189万人	106万人	161万人	200万人	206万人		212万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている																							
		実績値	189万人	51万人																														
		達成度	100%	48.1%																														
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		誘客促進施策の結果として、市内の宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標になると考えるため	観光庁の宿泊旅行統計調査データ等により推計値を算出																															
		②目標事項： 市内の年間外国人延べ宿泊者数																																
		KPI： 5年後に152万人/年																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年)</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R5年</th> <th>R6年</th> <th>R7年</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>80万人</td> <td>64万人</td> <td>107万人</td> <td>140万人</td> <td>146万人</td> <td>152万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3">他の統計調査に合わせて暦年値にしている</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>124万人</td> <td>6万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>155.0%</td> <td>9.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	80万人	64万人	107万人	140万人	146万人	152万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている	実績値	124万人	6万人					達成度	155.0%	9.4%				
		現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	80万人	64万人	107万人	140万人	146万人		152万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている																							
		実績値	124万人	6万人																														
達成度	155.0%	9.4%																																
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
訪日外国人旅行者に対する受入環境整備等の施策の効果として、外国人宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標になると考えるため	観光庁の宿泊旅行統計調査データ等により推計値を算出																																	
③目標事項： 市内観光施設の利用者数																																		
KPI： 5年後に19.3万人/年																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>20.0万人</td> <td>10.6万人</td> <td>10.8万人</td> <td>11.1万人</td> <td>11.4万人</td> <td>11.6万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>18.7万人</td> <td>2.7万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>93.50%</td> <td>25.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	20.0万人	10.6万人	10.8万人	11.1万人	11.4万人	11.6万人	↑		実績値	18.7万人	2.7万人					達成度	93.50%	25.5%						
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	20.0万人	10.6万人	10.8万人	11.1万人	11.4万人		11.6万人	↑																										
実績値	18.7万人	2.7万人																																
達成度	93.50%	25.5%																																
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
観光案内施設の利用者数の増加が、市域の観光に対する関心の高さやその活性化を示す指標になると考えるため	りんくうまち処・泉佐野まち処・泉佐野観光情報センターの利用者数の合計値 ※令和元年度実績値と令和3～7年度目標値が乖離している理由…令和2年度（令和3年3月末）で関空まち処を閉鎖したため																																	
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】																																
		担当課評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人の入国制限の長期化や国内旅行者の移動の制限により、各KPIは目標値を大きく下回ってしまった。国内旅行者の誘客・消費喚起を目的として「Go To IZUMISANOキャンペーン」を企画するも、まん延防止対策の発令のため延期となる。																															
		D																																
改善(A)	委員会意見	【4年度における取り組みなど】																																
		まん延防止対策の発令のため延期となった「Go To IZUMISANOキャンペーン」を4月から開始し、国内旅行者の誘客と市内の消費喚起に取り組み、また外国からの旅行者受入れに合わせて、市内への誘客の取り組みも進めていく。																																
委員会意見	委員会評価	【評価等に対する意見】																																

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標とおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	観光による交流人口拡充	
具体的施策	②観光による交流人口の拡充	
事業名	KIX泉州ツーリズムビューロー事業	
事業概要	【最終予算額：8,553,000円】 【決算額：8,045,000円】	
	本事業は、泉州観光7団体の推進協議会、華やいで大阪・南泉州観光7団体の推進協議会、泉州国際マリン実行委員会の3団体の発展的解消により平成30年4月1日に新たに設立したDMO「一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー」において、「認知度向上」、「セカンド・デスティネーション」、「体験型観光」の3つのコンセプトのもとに、関西国際空港に近接する立地を活かしたインバウンド客に向けたプロモーションの実施や泉州サイクリルートを活用した地域資源のプロモーション及び近隣府県と連携したサイクリングイベント等を実施し、観光客数及び地域内消費額の増加による地域経済の活性化を図る。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 泉州地域の訪日旅行者数									
		KPI： 令和4年度に420万人									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	277万人	365万人	420万人						
		実績値	392万人	—							
		達成度	141.52%	—					単年度計	↗	
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		本事業は開空を利用する訪日旅行者等に泉州9市4町を回遊してもらうことを目的としており、泉州地域の訪日旅行者数が当該目的に対する効果を直接的に図れる指標であるため					主要観光施設の来場者数、モバイル空間統計調査、アンケート調査等のデータにより算出				
		②目標事項： 泉州地域の来訪者満足度（訪日旅行者）									
		KPI： 令和4年度に7ポイント									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	6.3ポイント	6.6ポイント	7.0ポイント						
		実績値	6.5ポイント	6.2ポイント							
		達成度	103.17%	93.9%					単年度計	↗	
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		来訪者満足度の向上により、再訪や友人等への紹介、SNS等での情報発信が見込めることから、本事業の目的達成やその効果を高める指標であるため					来訪者へのアンケート調査により算出				
③目標事項： 泉州地域の延べ宿泊者数（訪日旅行者）											
KPI： 令和4年度に180万人											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	119万人	157万人	180万人								
実績値	152万人	—									
達成度	127.73%	—					単年度計	↗			
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
延べ宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、泉州地域の観光関連産業の活性化を示す指標であるため					観光庁の宿泊旅行統計調査、宿泊施設へのアンケート調査等により算出						
④目標事項： 泉州地域の旅行消費額（訪日旅行者）											
KPI： 令和4年度に1,327億円											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	888億円	1,152億円	1,327億円								
実績値	1,281億円	—									
達成度	144.26%	—					単年度計	↗			
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
旅行消費額の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、泉州地域の観光関連産業の活性化を示す指標であるため					来訪者へのアンケート調査、クレジットカード等の消費動向調査等により算出						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】									
		担当課評価	新型コロナウイルス感染症拡大により、各KPIは目標値を大きく下回ってしまった。地域DMOであるKIX泉州ツーリズムビューローが、先導的役割を果たすため、泉州の広域観光についてPR活動を行った。								
		D									
令和3年度	改善(A)	【4年度における取り組みなど】									
		アフターコロナを見据え、国内外の旅行者を泉州地域に誘客するため、他の地域DMOなどと連携して、地域経済の活性化に向けた取り組みをすすめていく。									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性化課
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	観光による交流人口拡充	
具体的施策	②観光による交流人口の拡充	
事業名	関空立国デスティネーション化推進事業	
事業概要	【最終予算額：192,331,000円】 【決算額：170,886,000円】	
	関空の対岸という地理的優位性と交通利便性の強みを活かし、夜間帯の消費喚起につながるナイトタイムエコノミーの推進や新たな観光資源の魅力創出等による観光客の目的化と、地域間連携の強化による周辺地域への出発地あるいは中継地としての機能強化をはかり、観光ハブ都市の形成をめざす。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 外国人延べ宿泊者数																																				
		KPI： 令和5年度に158万人																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(前年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>105.0万人</td> <td>129.5万人</td> <td>143.5万人</td> <td>158.0万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>124.4万人</td> <td>6万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>単年度計</td> <td>↗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>118.48%</td> <td>4.6%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	105.0万人	129.5万人	143.5万人	158.0万人					実績値	124.4万人	6万人				単年度計	↗		達成度	118.48%	4.6%						
		現状値(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																												
		目標値	105.0万人	129.5万人	143.5万人	158.0万人																																
		実績値	124.4万人	6万人				単年度計	↗																													
		達成度	118.48%	4.6%																																		
		KPI設定の根拠	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>本事業は訪日外国人旅行者の目的化を目的としており、外国人延べ宿泊者数の増加が、事業目的に対する効果を直接的に図れる指標であるため</p> <p>観光庁の宿泊旅行統計調査等のデータにより算出</p>																																			
		②目標事項： (仮称)りんくう野外文化音楽堂の利用者数																																				
		KPI： 令和5年度で延べ10,000人以上																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(前年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>0人</td> <td>500人</td> <td>3,500人</td> <td>10,000人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0人</td> <td>2,696人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>累計</td> <td>↗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td>539.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	0人	500人	3,500人	10,000人					実績値	0人	2,696人				累計	↗		達成度	—	539.2%						
		現状値(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																												
		目標値	0人	500人	3,500人	10,000人																																
		実績値	0人	2,696人				累計	↗																													
		達成度	—	539.2%																																		
		KPI設定の根拠	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>新たな観光資源の魅力創出等による(仮称)りんくう野外文化音楽堂の利用者数の増加が、本事業の目的達成やその効果を高める指標であるため</p> <p>当該施設を利用して開催されるイベント等の来場者数の合計値により算出</p>																																			
③目標事項： ガストロノミーツーリズムの利用者数																																						
KPI： 令和5年度で延べ1,000人以上																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(前年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>0人</td> <td>300人</td> <td>600人</td> <td>1,000人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0人</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>累計</td> <td>↗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	0人	300人	600人	1,000人					実績値	0人	—				累計	↗		達成度	—	—								
現状値(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																														
目標値	0人	300人	600人	1,000人																																		
実績値	0人	—				累計	↗																															
達成度	—	—																																				
KPI設定の根拠	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>ガストロノミーを基本概念とする広域フードツーリズム等の利用者数の増加が、連携自治体や周辺地域への人の流れをどれだけつくりあげられたかに直結する数値であり、本事業の目的達成やその効果を高める指標であるため</p> <p>体験フェアや各地域の食文化が体験できる施設、ツアー等の利用者の合計値により算出</p>																																					
④目標事項： 消費効果額																																						
KPI： 令和5年度で延べ17億円以上																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(前年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>1.00億円</td> <td>6.60億円</td> <td>11.20億円</td> <td>17.00億円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1.96億円</td> <td>1.6億円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>累計</td> <td>↗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>196.0%</td> <td>24.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	1.00億円	6.60億円	11.20億円	17.00億円					実績値	1.96億円	1.6億円				累計	↗		達成度	196.0%	24.2%								
現状値(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																														
目標値	1.00億円	6.60億円	11.20億円	17.00億円																																		
実績値	1.96億円	1.6億円				累計	↗																															
達成度	196.0%	24.2%																																				
KPI設定の根拠	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>消費効果額の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標であるため</p> <p>宿泊料、食事代、施設利用料、フェア参加料等の合計値により算出</p>																																					
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】																																				
		担当課評価	<p>D</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、ガストロノミーツーリズムのイベントも実施できず、また、訪日観光客の入国制限により、各KPIは目標値を下回っている。昨年10月にりんくう野外文化音楽堂がオープンし、りんくうタウンエリアにおける賑わいづくりのための新たな集客施設として期待される。</p>																																			
		改善(A)	<p>【4年度における取り組みなど】</p> <p>昨年度実施できなかったフードツーリズム促進に向けた食イベントの開催や、泉佐野市内における滞在時間の拡大を目的とした、新たな滞在コンテンツの造成実証事業を実施し、観光施設や事業者と連携してまちの賑わいを創り出すような取り組みをすすめていく。</p>																																			
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】																																				
		委員会評価																																				

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	②観光による交流人口の拡充
事業名	「恋人の聖地」観光誘客連携による地域活性化事業
事業概要	【最終予算額：10,344,000円】 【決算額：10,344,000円】 NPO法人地域活性化支援センター「恋人の聖地」プロジェクトに参画する12市町の広域連携により、 (1) ICTを活用した恋人の聖地等へ観光誘客するための「来訪旅行者情報共有のためのプラットフォームの整備」(2) 恋人の聖地の魅力増進及び周辺領域へのブランドの波及(3) 恋人の聖地観光誘客の共同プロモーションを実施し、自立的な『全国規模の回遊促進の実現と、各地域の観光消費拡大と国の観光事業の推進』への寄与をめざす。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： プラットフォーム登録旅行者数									
		KPI： 令和4年度で259,200人									
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	—	129,600人	259,200人						
		実績値	—	34,442人					累計	↗	
		達成度	—	26.6%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		プラットフォーム登録旅行者数の増加が、地域における観光情報の充実度、満足度に比例すると考えられ、本事業の取り組みによる観光消費拡大の効果を直接的に計測する指標であるため					新たに開発したアプリ(プラットフォーム)の登録者数の合計値により算出				
		②目標事項： 協力事業者拠点件数									
		KPI： 令和4年度で360件									
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	—	240件	360件						
		実績値	—	120件					累計	↗	
		達成度	—	50.0%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
協力事業者拠点件数の増加が、旅行者との直接接点の増加につながり、プラットフォーム登録旅行者数に比例すると考えられ、本事業の取り組みによる観光消費拡大の効果を直接的に計測する指標であるため					連携自治体における協力店舗、施設、観光スポット、イベント開拓数の合計値により算出						
③目標事項： 旅行者満足度指数											
KPI： 令和4年度で30.0%以上											
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値	—	26.0%	30.0%								
実績値	—	58%					単年度計	↗			
達成度	—	223.1%									
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
旅行者満足度指数の向上が、リピーターや新規顧客の獲得につながるものと考えられ、本事業の取り組みによる観光消費拡大の効果を直接的に計測する指標であるため					アプリ等のアンケート調査により算出						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】 担当課評価 C	恋人の聖地に加盟している他市町村と連携して、消費拡大を目的に誘客に向けた事業を展開した。プラットフォーム登録旅行者数、協力事業者拠点件数については、新型コロナウイルスの影響などにより、KPI目標を下回ったが、訪れた旅行者の満足度は目標達成できた。								
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】 今年度の事業について、新型コロナウイルス感染症状況に影響されることが見込まれますが、他市町村と連携して、引き続きブランド力増進・商品開発事業等に取り組み、全国規模の回遊促進の実現と、各地域の観光消費拡大をめざす。									
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	おもてなし課
----------	-----	--------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	③MICE誘致の推進
事業名	地方版MICE誘致推進事業
事業概要	【最終予算額：33,808,000円】 【決算額：30,556,358円】
	国際空港の玄関都市という好立地を活用した地方版MICEの誘致に向け、課題等を抽出し、効果的なMICE誘致に取り組む。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標 事項・ 進捗 状況	①目標事項： 誘致活動に伴うMICE誘致成功件数																																				
		KPI： 年間3件																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・ 累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>単年度計</td> <td>→</td> <td>宿泊を伴う100人以上の規模</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3件	3件	3件	3件	3件	単年度計	→	宿泊を伴う100人以上の規模	実績値	3件	3件							達成度	100%	100.0%						
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別				指標の傾向	備考																									
		目標値	3件	3件	3件	3件	3件		単年度計	→	宿泊を伴う100人以上の規模																											
		実績値	3件	3件																																		
		達成度	100%	100.0%																																		
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
		市内でMICEが開催されることで、地域経済の活性化及び都市ブランドの確立につながるため。	R1年度誘致成功件数（3件）と同件数																																			
		②目標事項： MICE開催時における市内宿泊施設への延べ宿泊参加者数																																				
KPI： 年間8,000人（3年度～5年度は新型コロナウイルスの影響により目標値減）																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・ 累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>2,226人</td> <td>6,000人</td> <td>6,000人</td> <td>7,000人</td> <td>8,000人</td> <td>単年度計</td> <td>↗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2,226人</td> <td>159人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>2.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考	目標値	2,226人	6,000人	6,000人	7,000人	8,000人	単年度計	↗		実績値	2,226人	159人							達成度	100%	2.7%								
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別				指標の傾向	備考																											
目標値	2,226人	6,000人	6,000人	7,000人	8,000人		単年度計	↗																														
実績値	2,226人	159人																																				
達成度	100%	2.7%																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					
MICE参加者に市内での宿泊を推進し、宿泊者が増加することで、地域経済の活性化につながるため。	年間延べ1万人のMICE参加者の誘致を目指し、うち8割（8,000人）の宿泊を目標値とする（3年度～5年度は新型コロナウイルスの影響により目標値減）																																					
③目標事項：																																						
KPI：																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・ 累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度										
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別				指標の傾向	備考																											
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					

令和3年度	評価 (C)	<p>【3年度評価】</p> <table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>令和3年度は新型コロナウイルスの席卷により、令和2年度に誘致を行い開催予定であったMICE案件が中止になる等、宿泊参加者数が設定したKPIを達成できなかった。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	令和3年度は新型コロナウイルスの席卷により、令和2年度に誘致を行い開催予定であったMICE案件が中止になる等、宿泊参加者数が設定したKPIを達成できなかった。	D	
	担当課評価	令和3年度は新型コロナウイルスの席卷により、令和2年度に誘致を行い開催予定であったMICE案件が中止になる等、宿泊参加者数が設定したKPIを達成できなかった。				
	D					
改善 (A)	<p>【4年度における取り組みなど】</p> <p>MICEという人的な交流が中心となる事業においては、新型コロナウイルスという外形的な要因の影響が多大であるが、昨年度に新設した感染症予防対策支援助成金が活用できるリアルとオンラインを併用したハイブリッド型のMICE開催の推進や、感染症収束後を見据え、コロナ禍で進んだ今後予定されるエリア開発の魅力を的確に伝えながら、新規案件の獲得に努める。</p>					
委員会意見	<p>【評価等に対する意見】</p> <table border="1"> <tr> <td>委員会評価</td> <td></td> </tr> </table>	委員会評価				
委員会評価						

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	ふるさと創生課
----------	-----	---------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	関係人口の創出・拡大
具体的施策	④シティプロモーション活動の強化
事業名	ふるさと応援寄附金事業
事業概要	【最終予算額：6,464,776,000円】   【決算額：6,168,563,311円】 ふるさと納税制度の取り組みに基づき全国の寄附者と繋がりを図ることで、地元特産品のPR、販売促進や観光誘致につなげることで、地元企業・地域の活性化をめざします。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： ふるさと応援寄附金寄附件数																																				
		KPI： 年間240,000件																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>240,000件</td> <td>240,000件</td> <td>240,000件</td> <td>240,000件</td> <td>240,000件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>894,138件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td>372.6%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	240,000件	240,000件	240,000件	240,000件	240,000件			実績値	—	894,138件					→		達成度	—	372.6%						
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
		目標値	—	240,000件	240,000件	240,000件	240,000件		240,000件																													
		実績値	—	894,138件					→																													
		達成度	—	372.6%																																		
		KPI設定の根拠	<p>市外住民の寄附行為が対象であり、不安定な要素はあるが寄附件数の実績を根拠とする。</p>	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>新制度のふるさと納税受入れ受入れ開始（令和2年7月）から令和2年12月末までの実績である120,000件の2倍を積算根拠とする。</p>																																		
		②目標事項：																																				
		KPI：																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠																																						
③目標事項：																																						
KPI：																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度										
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																											
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠																																						

令和3年度	評価(C)	<p>【3年度評価】</p> <p>担当課評価</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>KPI目標として設定した件数については、目標比372.6%の894,138件となり、大幅にKPI目標を上回ることが出来た。また本事業の一環で、ふるさと納税を通じたシティプロモーションの強化を目的として、寄附者に対するシティプロモーションに関するアンケート等も実施し、全国の寄附者に対し、本市に対する移住・定住の意向調査等にも取り組み、寄附者との接点強化に積極的に取り組んでいる。</p>
	改善(A)	<p>【4年度における取り組みなど】</p> <p>大幅に件数を伸ばした一方、その反動で発送遅延によるクレームも発生しており、一部の寄附者の泉佐野市への信頼度低下を招いたことが反省点として挙げられる。令和4年度については、「攻め」のみでなく、品質管理・配送管理等の「守り」の部分強化し、より寄附者の満足度を高め、全国の寄附者との良好な接点の強化に努めていきたいと考えている。なお、令和4年度においても昨年同様事業の一環でのシティプロモーション強化施策にも取り組む予定である。</p>
	委員会意見	<p>【評価等に対する意見】</p> <p>委員会評価</p>

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	おもてなし課
----------	-----	--------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	関係人口の創出・拡大	
具体的施策	④シティプロモーション活動の強化	
事業名	東京事務所運営事業	
事業概要	【最終予算額： 4,411,000円】 【決算額： 2,035,468円】	
	東京事務所の運営・調整（東京を拠点とした自治体間の交流促進、イベント開催等）。 イベント内容としては、いずみさの特産品フェア（本市の特産品のPR、販売。日本遺産に登録された「日根荘」や関西国際空港のPR）や東京いずみさの会（会員同士のネットワークを形成し、交流を深める）を開催している。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 東京いずみさの会会員数									
		KPI： 5年後に189人									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	117人	141人	153人	165人	177人	189人	累計	↑	
		実績値	117人	147人							
		達成度	100%	104.3%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		会員数の増加により、東京での本市への認知度アップにつなげ、ひいては関係人口の増加につながるため。					毎年12人ずつ会員数が増加するように積算				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価	令和3年度は新型コロナ感染拡大により例年開催している特産品の販売や東京いずみさの会のパーティーも開催できなかった。ただしKPIは目標値を超えたため評価上は「B」とした。								
	B										
令和3年度	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
		ようやく感染拡大の傾向が収まり社会活動が復活するにつれ、本来の目的であるシティプロモーション活動を再開し、関東圏の情報や事業活動を誘致していく。また活動に併せて引き続き東京いずみさの会の会員数も増やしていく。									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



令和 3 年度分	担当課	まちの活性化課
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	都市魅力の創出・発信	
具体的施策	④シティブロモーション活動の強化	
事業名	新たな生活様式推進事業	
事業概要	【最終予算額：3,000,000円】 【決算額：— 円】	
	泉佐野市の交通利便性の優位性のある立地を活かし、首都圏等からの企業や人材の誘致するためのサテライトオフィス等の拠点を整備を通じて、関係人口を増加や、地元企業とのマッチングのサポート、ワーケーションの取組等を推進することにより、従来のインバウンドに頼っていた取組から、新たな国内需要にシフトすることで、低迷している地域経済の再生へと導く。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 首都圏等からの人材誘致									
		KPI： 5年後にのべ2,000人									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	50人	100人	150人	700人	1,000人	単年度計	↑	
		実績値	—	—	—	—	—	—			
		達成度	—	—	—	—	—	—			
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		首都圏等からの人材誘致が、この事業の実施により新たにこの地域に呼び込んだ人数となることより、事業評価に直結すること、地域内消費への期待度が向上する観点より一番最適であると考えため					令和5年度を目的に総合産業支援拠点を整備が完了する予定であり、それまでの間は、古民家等を活用した小規模サテライトオフィスの整備に努めるなどの取り組みを推進していくことで、1件当り月2人の誘致を目標とし、年1件ペースで整備を予定しており、その後、令和5年度冬頃を目的に、総合産業支援拠点の整備完了に合わせ、サテライトオフィス拠点を整備することから、他の事例を鑑みて数値を設定した。				
		②目標事項： 首都圏等からのサテライトオフィス等の誘致件数									
		KPI： 5年後にのべ20件									
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	—	2件	3件	5件	5件	5件	単年度計	↑			
実績値	—	—	—	—	—	—					
達成度	—	—	—	—	—	—					
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
首都圏等からの人材誘致が、この事業の実施により新たにこの地域に呼び込んだ人数となることより、事業評価に直結すること、地域内消費への期待度が向上する観点より一番最適であると考えため					令和4年度までは、古民家等を活用した小規模サテライトオフィスの整備支援を行うことから、首都圏等の企業のサテライトオフィスの目標値として、年1件～2件を想定しており、令和5年度夏頃を目的に、総合産業支援拠点の整備完了に合わせ、サテライトオフィス拠点を整備することから、他の事例を鑑みて数値を設定した。						
③目標事項： ワケーションツーリズム利用者数											
KPI： 5年後にのべ300人											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	—	0人	50人	70人	80人	100人	単年度計	↑			
実績値	—	—	—	—	—	—					
達成度	—	—	—	—	—	—					
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
新たな働き方として注目されているワーケーションを通じて、一定の滞在期間や人数が測定しやすく、地域経済への波及効果が可視化しやすいため					令和3年度はツーリズム造成のため、利用者数は計上していないが、令和4年度以降は、首都圏等からの研修旅行を中心に誘致プロモーションを展開し、1社10名程度を呼び込むことを想定。なお、令和4年度はモニター価格の設定などで利用者につなげる取り組みを想定してKPIを設定。						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】									
		担当課 評価	E								
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】 事業取り止めのため、記載なし									
		【評価等に対する意見】									
委員会意見	委員会 評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	健康推進課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	さのっ子ナビ（電子母子手帳）による子育て支援	
事業概要	【最終予算額：660,000円】 【決算額： 660,000円】 妊娠中の役立ち情報をはじめ、予防接種のスケジュール管理や健診記録など、妊娠から出産、子育てまでの支援を行う。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： さのっ子ナビ（電子母子手帳）の年間出生者数に対する登録者数の比率									
		KPI： 5年後に70%									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	64%	66%	67%	68%	69%	70%	単年度計	↑	
		実績値	64%	60%							
		達成度	100.0%	90.9%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		登録することによって、妊娠中から情報を得たり、出産後は子どもの予防接種の管理などから、成長の記録などにも活用することにより、健康管理への関心度がわかる。					出生者数に対する登録者数の比率を年に1ポイント増加することを目標とした。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】	
		担当課評価	母子健康手帳の電子管理版として保護者が健診結果や予防接種の管理ができるようH28.10から導入されました。出生届、4か月児健康診査、BCG予防接種実施の時に案内チラシを渡し利用の推進を行っています。保護者様によってはBCGの時に案内する職員と一緒にその場で設定をされます。しかし、出生届時は父親やその他家族が来庁されることも多く、いろいろな手続きの書類を持っているため、また、健診時は袋に入れたまま持ち帰るためその場でゆっくり確認することも少ないようです。R4.3末時点では2126人登録。そのうち3年度新規登録者370人。出生数620人の約60%です。予防接種時期、コロナ禍の中の事業の中止のお知らせや、健康推進課からの離乳食の情報やトピックスなども配信しています。育児支援アプリとして、より多くの人に利用していただきたいと考えています。
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】 より多くの方が活用し支援の1つになればと思います。そのためにより目止まり関心を持っていただくために、乳児全戸訪問時の案内や4か月児健診時に再度説明するなど普及に努めていきたいと思っています。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】	委員会評価

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	地区福祉委員会活動の支援（ふれあいのまちづくり事業）	
事業概要	【最終予算額：12,007,000円】 【決算額：12,007,000円】	
	地域において子育て世帯が孤立することなく、子育てに関する相談や親子の仲間づくりを目的とした子育てサロン活動（地区福祉委員会主催）の支援を行う。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 子育てサロン実施箇所									
		KPI： 5年後に14か所									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	11か所	11か所	11か所	12か所	13か所	14か所			
		実績値	11か所	10か所					単年度計	↑	
		達成度	100%	90.9%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		この数値の把握により、地域での子育て世帯への支援体制の進捗状況がわかる。					市内14地区全ての福祉委員会において、子育てサロンを設置することを目標とする。				
		②目標事項： 子育てサロン開催回数									
		KPI： 5年後に340回/年									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	308回	310回	310回	320回	330回	340回			
		実績値	308回	60回					単年度計	↑	
		達成度	100%	19.4%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
この数値の把握により、地域での子育て世帯への支援活動の進捗状況がわかる。					令和元年度の実績をベースに子育てサロンの実施箇所数の目標値に沿って、令和5年度から毎年10回ずつ子育てサロン開催回数を増加することを目標とする。						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値							単年度計				
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価	コロナ感染拡大の影響により、子育てサロンを含むグループ支援活動の中止を余儀なくされているため、コロナ禍以前より実施箇所・開催回数ともに減少しているが、令和2年度と比べ徐々に増加傾向となっている。なお、個別支援活動については、感染対策を行い継続的に行った。								
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
		予定していた活動がコロナにより開催中止となっている。しかし感染リスクを軽減した中で、ICTの活用を行った開催や人数制限を行った開催にすることで、前年度より開催数は増加している。今後も感染リスクを軽減した開催を支援して行く。									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	幼児教育・保育	
事業概要	【最終予算額：3,445,755,000円】 【決算額：3,167,163,603円】	
	教育または保育を必要とする児童に対し、質の高い教育・保育を行い、待機児童数ゼロを堅持する。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 待機児童数										
		KPI： 毎年待機児童数0を堅持										
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	0人	0人	0人	0人	0人	0人	単年度計	→		
		実績値	0人	0人								
		達成度	100%	100.0%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		「泉佐野子ども未来総合計画」（令和2～6年度）に基づき、幼児教育・保育の「量的確保」（待機児童の解消に向けた保育の受け皿の確保等）及び「質の向上」（職員の配置及び処遇改善）を行い、子育て世帯がどこでも必要な時に利用できる子育てしやすい環境整備の指標となります。					待機児童数0を堅持					
		②目標事項：										
		KPI：										
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値										
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
③目標事項：												
KPI：												
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】	
		担当課 評価	令和元年10月から幼児教育・保育の無償化（3～5歳児）が開始されたことと同時に、市単独事業として給食費の無償化を開始している。また、上記無償化に伴って私立幼稚園就園奨励費補助金、助成金が廃止されたことにより、教育費の負担が増加する所得階層の世帯には、負担軽減補助金を支給している。これに加え、新型コロナウイルス感染症により臨時休園や家庭保育の協力要請により、園を利用できなかった場合の0～2歳児クラスの利用者負担額について、日割り計算により減額している。保育に欠ける保護者からは、申し込みにより、入所判定会議を経て入所児童を決定し、保育料の決定、徴収を行い、保育を実施する。 （令和3年度実績） 待機児童数 0件 （平成2年度実績） 待機児童数 0件
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】 引き続き、待機児童数ゼロを堅持する。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	地域における子育て支援サービス	
事業概要	【最終予算額：13,780,000円】 【決算額：12,822,649円】 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）やファミリーサポートセンター事業など、在宅で保育を行う家庭を含むすべての子育て家庭に対して、利用者のニーズを踏まえながら必要な支援を行う。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地域子育て支援事業実施回数																																		
		KPI： 5年後に398回																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td>398回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>398回</td> <td>446回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> <td rowspan="2">→</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>112%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	398回	398回	398回	398回	398回	398回			実績値	398回	446回					単年度計	→	達成度	100%	112%				
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	398回	398回	398回	398回	398回		398回																											
		実績値	398回	446回					単年度計	→																										
		達成度	100%	112%																																
		KPI設定の根拠																																		
		「泉佐野子ども未来総合計画」（令和2～6年度）に基づき、地域子育て支援拠点事業を実施し、乳幼児及び保護者の相互交流を行い、子育てについての相談、情報提供、助言等を行い、子育て支援の充実度を図る指標となります。																																		
		KPI目標数値の積算根拠																																		
左記計画の量の見込みでは、提供体制は十分確保となっているため、元年度実績を堅持するとした。																																				
②目標事項： ファミリーサポートセンター事業援助活動件数																																				
KPI： 5年後に3,276件																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3,226件</td> <td>3,236件</td> <td>3,246件</td> <td>3,256件</td> <td>3,266件</td> <td>3,276件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3,226件</td> <td>1,047件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> <td rowspan="2">↗</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>32%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3,226件	3,236件	3,246件	3,256件	3,266件	3,276件			実績値	3,226件	1,047件					単年度計	↗	達成度	100%	32%						
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値	3,226件	3,236件	3,246件	3,256件	3,266件		3,276件																													
実績値	3,226件	1,047件					単年度計	↗																												
達成度	100%	32%																																		
KPI設定の根拠																																				
「泉佐野子ども未来総合計画」（令和2～6年度）に基づき、ファミリー・サポート・センター事業を実施し、利用を通じ、家庭の中だけの孤独な子育てをなくし、地域で子育てを行い、子育て支援の充実度を図る指標となります。																																				
KPI目標数値の積算根拠																																				
左記計画の量の見込みでは、提供体制は十分確保となっているが、更なる利用促進を目標としているため、元年度実績から援助活動件数増加を10件/年とした。																																				
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠																																				
KPI目標数値の積算根拠																																				
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】																																		
		担当課評価																																		
		D 地域住民と子育て家庭の交流・連携を図る講座や催し等を実施し、地域における子育て支援を推進する。平成31年1月29日～地域子育て拠点を1ヶ所追加開所し、更なる支援が可能となった。しかし令和3年度も令和2年度に引き続き、コロナウイルス感染症感染拡大のため一時事業の中止、縮小による事業実施等により、実績数は減少となった。																																		
改善（A）	委員会意見	【4年度における取り組みなど】																																		
		感染症対策を行い、引き続き、利用者のニーズを踏まえた支援を行う。																																		
		【評価等に対する意見】																																		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分		担当課	学校教育課							
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実									
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり									
事業名	小学校通学支援事業（通学バスの運行（第一小学校・大木小学校））									
事業概要	【最終予算額：16,349,000円】		【決算額：14,825,272円】							
	立地的に支援が必要な地域又は山間部に立地の大木小学校について、マイクロバスを借り上げ、子どもたちが安心・安全に学べられるよう、通学の支援を行う。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 通学バス利用児童数								
		KPI： 令和2年度の通学バス利用児童数（99人）を維持								
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	102人	99人	99人	99人	99人	99人	単年度計	→
		実績値	102人	107人						
		達成度	100%	108.1%						
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		この数値の把握により、児童及び保護者が安心安全に通学できる手段の一つとして、通学バスの利用を望んでいるのかの指標となると考えるため。				令和2年度の通学バス利用児童数（第一小学校（62名）+大木小学校（37名））を規準に目標値を設定				
		②目標事項：								
		KPI：								
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		③目標事項：								
		KPI：								
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】								
		担当課評価	通学距離が長いので、公共交通機関を利用し通学していた児童に対し、中型バスを借上げ支援を行った。							
		B								
令和3年度	改善（A）	【4年度における取り組みなど】								
		令和3年度に引き続き中型バスを借上げ、立地的に支援が必要な地域又は山間部に立地の大木小学校について支援を行う。								
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】								
		委員会評価								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
----------	-----	-------

基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	学校教育の充実
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進
事業名	ICT活用教育推進事業
事業概要	【最終予算額：54,069,000円】 【決算額：53,954,895円】
	市内小中学校にPC端末等の環境の整備を行うとともに、教職員がICT機器の特性を理解し、授業において効果的に活用することができる環境をつくることで、子どもたちがよくわかる授業づくりと学力の定着・向上をめざす。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 授業におけるPC端末の月平均利用回数									
		KPI： 5年後に、平均20回以上/月									
		現状値 (R元年度)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	-	12回	14回	16回	18回	20回			
		実績値	-	14.2回					単年度計	↑	
		達成度	-	118.3%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		校内通信ネットワーク環境と1人1台端末の利用状況を把握することで、市内の小中学校におけるICT活用の推進、及び、児童・生徒がわかる授業づくりと学力の定着・向上を図っているかの指標になると考えるため。					令和元年度、教員のICT活用指導力の実態調査における、項目「学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能を児童生徒が身につけることができるよう指導できる」64%、を規準に設定した値				
		②目標事項：									
		KPI：									
		現状値 (R元年度)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
現状値 (R元年度)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・ 累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】									
		担当課 評価	令和3年度から、中学校においてプログラミング教育が実施となったことから、国の事業も活用し、教材の提供や教職員への研修を実施した。 また、1人1台ICT端末と高速大容量の通信ネットワーク環境の整備とともに、教職員のICT端末の活用能力の向上や情報モラル教育、プログラミング教育の推進を図り、児童生徒の学力、情報活用能力の向上のための取り組みができた。								
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】									
		ICT端末の活用能力の向上や情報モラル教育等の推進を図るため、教職員の連絡会や研修を通じて実践事例を積み上げていく。 ICT関連企業等の教職員向け研修や児童生徒向けプログラムを活用し、ICT端末の効果的な活用方法を探る。									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会 評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	放課後児童対策事業	
事業概要	【最終予算額：149,266,000円】 【決算額：143,090,630円】	
	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、遊びや生活の場を提供する。また、健全育成につながる子どもたちが楽しめる学習支援プログラムを実施する。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 基準日（5月1日）における留守家庭児童会入会者数									
		KPI： 令和2年度の留守家庭児童会入会者数（1192人）まで増加させる									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	1,132人	976人	1,030人	1,084人	1,138人	1,192人	単年度計	↑	
		実績値	1,132人	1,062人							
		達成度	100%	108.8%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		この数値の把握により、保護者が安心して仕事と子育てが両立できるかを示す指標になると考えるため。					令和3年度留守家庭児童会入会者数予測 1192人 (R2.5.1) - (987人 (R3.1.1) - 771人 (R2.1.1)) = 976人				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】									
		担当課評価	保護者就労等で昼間家庭にいない小学校に就学している児童（5月1日基準日時点登録児童数1062人）に対し、市内13小学校すべての小学校で遊びや生活の場を提供し、新型コロナウイルス感染症に注意しながら、安全な児童の健全育成を図ることができた。								
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】 共働き家庭やひとり親家庭の増加など、子どもを取り巻く環境の変化から、放課後における児童の安全な居場所づくり、そして高まる子どもたちの安全な居場所の確保及び留守家庭児童会の施設増設改築等整備を進めていく。									
		委員会意見	【評価等に対する意見】								
委員会評価											

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



令和 3 年度分	担当課	学校教育課
----------	-----	-------

基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	学校教育の充実
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進
事業名	泉佐野市の未来を創る教育事業
事業概要	【最終予算額：2,628,000円】 【決算額：2,583,012円】 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、重点支援小学校への支援策として「学力向上アドバイザー」を配置するなど、市域全体の学力向上を図る。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 全国学力・学習状況調査（小学校 算数）平均正答率の差																																
		KPI： 5年後に全国平均正答率との差が1.5																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3.1</td> <td>2.9</td> <td>2.7</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td rowspan="3">  </td> <td rowspan="3">第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1.6</td> <td>2.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>193.75%</td> <td>131.81%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3.1	2.9	2.7	2.5	2.0	1.5		第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0	実績値	1.6	2.2					達成度	193.75%	131.81%				
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	3.1	2.9	2.7	2.5	2.0		1.5		第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0																							
		実績値	1.6	2.2																														
		達成度	193.75%	131.81%																														
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		全国学力・学習状況調査（小学校 算数）の結果において、全国平均に近づくことにより、児童の算数の学力向上が図られているかが分かる指標となるため。	【参考】R1全国66.6、市65（差1.6） 総計によりR5が2.5、R10が0の差になる設定 R5以降は均等割により年0.5ずつ差を詰める R3、R4は年0.2ずつ差を詰める																															
		②目標事項： 全国学力・学習状況調査（小学校 国語）平均正答率の差																																
KPI： 5年後に全国平均正答率との差が1.5																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3.7</td> <td>3.5</td> <td>3.0</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td rowspan="3">  </td> <td rowspan="3">第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4.8</td> <td>4.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>77.08%</td> <td>74.46%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3.7	3.5	3.0	2.5	2.0	1.5		第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0	実績値	4.8	4.7					達成度	77.08%	74.46%						
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	3.7	3.5	3.0	2.5	2.0		1.5		第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0																									
実績値	4.8	4.7																																
達成度	77.08%	74.46%																																
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
全国学力・学習状況調査（小学校 国語）の結果において、全国平均に近づくことにより、児童の国語の学力向上が図られているかが分かる指標となるため。	【参考】R1全国63.8、市59（差4.8） 総計によりR5が2.5、R10が0の差になる設定 R5以降は均等割により年0.5ずつ差を詰める R3、R4も年0.5ずつ差を詰める																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
令和3年度	評価（C） 改善（A） 委員会意見	【3年度評価】 担当課評価 C 市域全小中学校の児童生徒の学力向上を目的とし、各校のPDCAに基づいた授業改善のために、学力向上アドバイザー2名と学力支援コーディネーター1名を配置した。アドバイザーとコーディネーターは、学校支援チームとして各校の指導助言を行い、取り組みを他校へ発信した。																																
		【4年度における取り組みなど】 月に一度の学力向上担当者会において、情報共有の時間を設定し、好事例の発信、共有を進める。さらに各校において取り組みが進むよう、学力向上アドバイザーと学力支援コーディネーターの派遣を積極的に行い、教職員の指導力を向上させる。また、他の事業で推進している「放課後学習」や「算数サポート」の事業も並行して進め、市域全小中学校の児童生徒の学力向上につなげていく。																																
		【評価等に対する意見】 委員会評価																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
----------	-----	-------

基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	学校教育の充実
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進
事業名	家庭への支援事業（スクールカウンセラー等による相談）
事業概要	【最終予算額：31,178,000円】 【決算額：28,904,254円】 いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決に向けた体制の強化を図るため、スクールカウンセラーを教育支援センター「さわやかルーム」「シャイン」に1名ずつ、スクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名配置する。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 中学校不登校生徒数（千人率）																																
		KPI： 5年後に令和元年度の全国平均中学校不登校生徒数（千人率）39.4人を下回らせる																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>46.7人</td> <td>45.0人</td> <td>43.5人</td> <td>42.0人</td> <td>40.5人</td> <td>39.0人</td> <td rowspan="3">↓</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>46.7人</td> <td>50.6人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>88.9%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	46.7人	45.0人	43.5人	42.0人	40.5人	39.0人	↓		実績値	46.7人	50.6人					達成度	100%	88.9%				
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																								
		目標値	46.7人	45.0人	43.5人	42.0人	40.5人	39.0人	↓																									
		実績値	46.7人	50.6人																														
		達成度	100%	88.9%																														
		KPI設定の根拠	令和元年度、本市の中学校不登校生徒数（千人率）は、46.7人。大阪府平均は、40.5人。全国平均は、39.4人。本市の中学校不登校生徒数は非常に多い状況にある。そのため、本事業を進め、5年後、令和元年度の全国平均を下回れるように目標を設定する。																															
		KPI目標数値の積算根拠	令和元年度、中学校不登校生徒数（千人率）本市：46.7人 大阪府：40.5人 全国：39.4人 毎年、千人率で1.5人ずつ不登校を減少させる。																															
		②目標事項： 小学校不登校児童数（千人率）																																
KPI： 5年後に令和元年度の大阪府平均小学校不登校児童数（千人率）7.9人を下回らせる																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>8.4人</td> <td>8.3人</td> <td>8.2人</td> <td>8.1人</td> <td>8.0人</td> <td>7.8人</td> <td rowspan="3">↓</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>8.4人</td> <td>17.0人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>48.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	8.4人	8.3人	8.2人	8.1人	8.0人	7.8人	↓		実績値	8.4人	17.0人					達成度	100%	48.8%						
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																										
目標値	8.4人	8.3人	8.2人	8.1人	8.0人	7.8人	↓																											
実績値	8.4人	17.0人																																
達成度	100%	48.8%																																
KPI設定の根拠	令和元年度、本市の小学校不登校児童数（千人率）は、8.4人。大阪府平均は、7.9人。全国平均は、8.3人。本市の中学校不登校児童数は多い状況にある。そのため、本事業を進め、5年後、令和元年度の府平均を下回れるように目標を設定する。																																	
KPI目標数値の積算根拠	令和元年度、小学校不登校児童数（千人率）本市：8.4人 大阪府：7.9人 全国：8.3人 毎年、千人率で0.1人ずつ不登校を減少させる。																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																										
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠																																		
KPI目標数値の積算根拠																																		
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課評価 C 令和3年度の本市の中学校不登校生徒数（千人率）は50.6人、小学校不登校児童数（千人率）は、17.0人で、昨年度よりも増加しており、目標値に届かず厳しい状況になっている。これまでも増加傾向になったが、新型コロナウイルスによる影響も考えられる。																																
		【4年度における取り組みなど】 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを効果的に活用し、個別のケースの対応だけでなく、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決に向けた体制の強化を図っていく。また、各校の担当者に向けた連絡会や学習会を定期的に実施していく。																																
		【評価等に対する意見】 委員会評価																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	生涯学習課
----------	-----	-------

基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	生涯学習の推進
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進
事業名	地域の情報拠点としての図書館機能の充実
事業概要	【最終予算額：155,284,000 円】 【決算額：155,107,882 円】 様々なイベントを企画し魅力ある図書館運営に努めていくと同時に、図書館本来の目的として、地域住民に求められる資料の充実と資料を必要とする人に的確に提供できるように努めていきます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 図書館蔵書冊数																																		
		KPI： 5年後に500,000冊																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>473,000冊</td> <td>482,000冊</td> <td>486,500冊</td> <td>491,000冊</td> <td>495,500冊</td> <td>500,000冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>472,219冊</td> <td>479,148冊</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> <td rowspan="2">↑</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>99.8%</td> <td>99.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	473,000冊	482,000冊	486,500冊	491,000冊	495,500冊	500,000冊			実績値	472,219冊	479,148冊					単年度計	↑	達成度	99.8%	99.4%				
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	473,000冊	482,000冊	486,500冊	491,000冊	495,500冊		500,000冊																											
		実績値	472,219冊	479,148冊					単年度計	↑																										
		達成度	99.8%	99.4%																																
		KPI設定の根拠	この数値の把握により、地域の情報拠点として、図書館が提供可能で、かつ、市民が求める資料・情報の収集が進んでいるか、図書館機能の充実に努めているかの指標となります。																																	
		KPI目標数値の積算根拠	令和元年度の実績値から起算した毎年4,500冊ずつ増加を目標として設定した結果の値																																	
		②目標事項： 年間個人貸出点数																																		
KPI： 5年後に353,300点																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>347,000点</td> <td>326,400点</td> <td>333,000点</td> <td>339,600点</td> <td>346,400点</td> <td>353,300点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>346,061点</td> <td>323,930点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> <td rowspan="2">↑</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>99.7%</td> <td>99.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	347,000点	326,400点	333,000点	339,600点	346,400点	353,300点			実績値	346,061点	323,930点					単年度計	↑	達成度	99.7%	99.2%						
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値	347,000点	326,400点	333,000点	339,600点	346,400点		353,300点																													
実績値	346,061点	323,930点					単年度計	↑																												
達成度	99.7%	99.2%																																		
KPI設定の根拠	この数値の把握により、地域の情報拠点として、市民への資料・情報の提供が進んでいるか、市民が読書などで知的欲求を満たしているのかの指標となります。																																			
KPI目標数値の積算根拠	現在のコロナ禍での図書館利用の減少を考慮し、令和元年度の実績値より低い目標値から、毎年2%前後の増加を目標として設定した結果の値																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠																																				
KPI目標数値の積算根拠																																				
令和3年度	評価 (C)	【3年度評価】 担当課評価 <b>B</b>																																		
		【4年度における取り組みなど】 令和3年11月「泉佐野市民の心と知識を豊かにする読書活動推進条例」を制定しましたが、今年度は学校や教育施設、読書活動グループ等と連携し「読書活動推進計画」の作成を進めてまいります。また、令和4年4月に開設された「佐野まちライブラリー」や新車両「ルリビタキ」を購入した移動図書館、「電子図書館」の周知をはかり、利用拡大に繋がるよう努めてまいります。																																		
		【評価等に対する意見】 委員会評価																																		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	学校教育の充実	
具体的施策	③国際交流の推進	
事業名	国際理解教育の充実（英語教育の充実、国際交流）	
事業概要	【最終予算額：0円】 【決算額：0円】	
	自国の歴史や文化・伝統に誇りを持ち、諸外国の異なる文化や習慣等について理解を深め、互いに違いを認め合い、共に生きていく力や自分の意思を表現できる基礎的な能力を育成するため、海外派遣や文化交流を推進する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 海外研修派遣人数									
		KPI： 5年間で80人									
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	20人	-	20人	20人	20人				20人
		実績値	20人	人					単年度計	→	
		達成度	100%	0.0%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		この数値の把握により、英語レッスンや学校訪問、ホームステイなどを通して、外国の言葉と文化に触れ、人々とふれあう中で国際理解を深めているかの指標になると考えるため。					令和元年度の海外研修派遣人数を規準に目標値を設定				
		②目標事項： 小中学校における文化交流事業数		KPI： 5年間で90回							
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
目標値	18回	18回	18回	18回	18回	18回					
実績値	18回	18回					単年度計	→			
達成度	100%	100.0%									
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
この数値の把握により、市内小・中学校における国際理解・多文化共生教育の推進が図られているかの指標になると考えるため。					令和元年度の小中学校における文化交流事業数を規準に目標値を設定						
③目標事項：		KPI：									
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値						単年度計					
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価	新型コロナウイルス感染症による影響のため、国際交流活動についても実施できないことが多かった。また、東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて計画していた取り組みも実現できなかった								
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
		市内の小中学校が、国際交流関係団体と連携しやすいように情報の提供などをおこなう。教職員への研修等を通じて多文化共生の取組みの推進・啓発を行う。									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	人権推進課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	男女共同参画社会づくりの推進	
具体的施策	④仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の啓発	
事業名	ワーク・ライフ・バランスの実現	
事業概要	【最終予算額：161,000円】 【決算額：57,000円】	
	結婚・出産・子育て・介護などに前向きなイメージを育めるよう、情報提供をはじめ関係機関と連携を図りながら多面的な支援を行う。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： ワーク・ライフ・バランスの啓発事業実施回数										
		KPI： 5年間で30回										
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	4回	6回	12回	18回	24回	30回	累計	→	累計	
		実績値	6回	4回								
		達成度	150%	67%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		啓発事業のうちワーク・ライフ・バランスをテーマにした講座の開催比率を高めることにより、市民への啓発の取組み状況がわかる。					年間に実施する啓発講座の約50%。					
		②目標事項：										
		KPI：										
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値										
		実績値										
		達成度										
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		③目標事項：										
		KPI：										
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】										
		担当課評価	令和3年度は令和2年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一定期間において女性センターを閉館していたため、年間の講座の開催回数は目標値を下回る結果となった。									
	C											
改善（A）	【4年度における取り組みなど】											
	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けて、男性・女性の誰もが充実した人生を送り、更には社会全体の共通認識と位置付けられるように啓発をしていきたい。そのためには、全市民の方に啓発講座に積極的に参加していただくことが実現への近道と考えている。											
委員会意見												
	委員会評価											

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分		担当課	子育て支援課							
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実									
具体的施策	⑤出会い・結婚の支援									
事業名	泉佐野市結婚新生活支援事業									
事業概要	【最終予算額：7,800,000円】			【決算額：7,800,000円】						
	結婚の希望を叶えるために、新婚世代の住居費及び引越し費用を支援することにより、結婚に伴う経済的不安を軽減する。									
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 結婚新生活支援事業補助金交付件数								
		KPI： 5年間で30件								
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	12件	26件	27件	28件	29件	30件	累計	↑
		実績値	12件	33件						
		達成度	100%	127%						
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		事業の目的である新婚世帯への経済的不安の軽減の達成度について、補助金の交付件数により測る。				政府の動向や実績値から令和3年度の予算要求時の件数を基にし、毎年1件ずつの増加とする。				
		②目標事項：								
		KPI：								
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値								
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値										
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】								
		担当課評価	制度の周知が図られてきたことにより、補助金の支給件数は目標値26件に対し、実績値が33件で上回った。							
		A								
令和3年度	改善(A)	【4年度における取り組みなど】								
		平成30年度から対象者の要件はほぼ変わりなく、制度の周知はできているので、一定の申請数は見込んでいる。今年度においても継続して周知を図るため、不動産業者及び結婚式運営事業者等への広報や、婚姻届提出時にチラシの配布を実施する。								
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】								
		委員会評価								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	子育て支援課
----------	-----	--------

基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実
具体的施策	⑤出会い・結婚の支援
事業名	婚活イベント等の共催・後援など（出会いの機会創出事業）
事業概要	【最終予算額：1,595,000円】 【決算額：1,522,000円】
	結婚を希望する若い世代を対象とした婚活等のイベント開催、または関係団体等が開催するイベントとの共催や後援を行い、出会いの場を提供する。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 婚活等イベント参加者の満足度									
		KPI： 5年後に80%									
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	75%	80%	80%	80%	80%	80%	↑		
		実績値	75%	77%							
		達成度	100%	96.3%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		趣旨に沿った開催内容であったかを、参加者の満足度によって測る。					参加者のアンケートの満足度の平均値				
		②目標事項：									
		KPI：									
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		③目標事項：									
		KPI：									
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	担当課評価	平成28年度から結婚を希望する人に対し、出会いの場を提供するために婚活イベント等の事業を開催。令和2年度はコロナ禍の影響により事業は中止。令和3年度については泉佐野市ならではの独自性溢れる「想いに残る出会いの機会創出事業」を実施することで、参加者に対し、シックプライドの醸成や当該事業をキッカケに婚活だけでなく、本市の魅力や創意工夫により伝え、定住人口はもとより、関係人口や交流人口としてのファンや関係性の繋がりも増加させることを目的とした事業を開催し、参加者の満足度が高かった。
		B	
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】 令和4年度は、昨年度の事業を継続し、令和4年度地域少子化対策重点推進交付金事業に取り組みます。単なる婚活イベントだけでなく、マッチング事業や本市等の関連企業と連携するとともに、本市ならではの取り組みを盛り込んだ出会いの機会を提供する事業を展開する予定。	
委員会意見	【評価等に対する意見】	委員会評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	道路公園課
----------	-----	-------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	①交通ネットワークの整備
事業名	コミュニティバス無料化事業
事業概要	【最終予算額：57,847,000円】 【決算額：57,847,000円】
	地域の生活拠点を運行するコミュニティバスの無料化を継続することで、地域の公共交通網による移動手段の維持・確保を図り、交通弱者が容易に移動でき、社会参加等を促進するとともに、通勤・通学等の経費減による転入促進を図ります。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： コミュニティバスの年間利用者数(人)																																		
		KPI： 5年後に205,000人																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>180,147人</td> <td>183,000人</td> <td>188,000人</td> <td>200,000人</td> <td>202,000人</td> <td>205,000人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>180,147人</td> <td>148,423人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> <td rowspan="2">↑</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>81.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	180,147人	183,000人	188,000人	200,000人	202,000人	205,000人			実績値	180,147人	148,423人					単年度計	↑	達成度	100%	81.1%				
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	180,147人	183,000人	188,000人	200,000人	202,000人		205,000人																											
		実績値	180,147人	148,423人					単年度計	↑																										
		達成度	100%	81.1%																																
		KPI設定の根拠	<p>運賃無料のコミュニティバスの利用向上は、高齢者や子育て世代の安全な移動支援や、通勤・通学・通院経費の軽減による住みやすさの向上、定住・転入促進につながると考え設定の根拠とした。</p>	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>高齢化の進捗を背景に、運賃無料の経済的な移動手段として、子育て世代等からの需要増も含む、毎年平均3%の増加を積算根拠とした。</p>																																
		②目標事項： 観光周遊バスの年間利用者数(人)																																		
		KPI： 5年後に10,000人																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>7,627人</td> <td>8,000人</td> <td>8,500人</td> <td>9,000人</td> <td>9,500人</td> <td>10,000人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>7,627人</td> <td>5,447人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> <td rowspan="2">↑</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>68.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	7,627人	8,000人	8,500人	9,000人	9,500人	10,000人			実績値	7,627人	5,447人					単年度計	↑	達成度	100%	68.1%						
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値	7,627人	8,000人	8,500人	9,000人	9,500人		10,000人																													
実績値	7,627人	5,447人					単年度計	↑																												
達成度	100%	68.1%																																		
KPI設定の根拠	<p>運賃無料の観光周遊バスの利用向上は、国内外からの観光客の周遊性を高めることで、地域経済の拡大に運動すると考え設定の根拠とした。</p>	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>日祝のみの運行であるも、運賃無料の継続化とともに、利便性・周遊性を高めるなどの利用促進を図り、毎年平均5%の利用増加を積算根拠とした。</p>																																		
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	<p>KPI目標数値の積算根拠</p>																																			

令和3年度	評価(C)	<p>【3年度評価】</p> <p>担当課評価</p> <p>C</p> <p>前年度から流行が続いている新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティバスの令和3年度利用者は148,423人と目標数値(183,000人)を下回った。しかし、前年(令和2年)の利用者120,984人と比較して、27,439人(22.7%)の増加となっている。また、観光周遊バスの令和3年度利用者は5,447人と目標数値(8,000人)を下回った。こちらも新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けている。</p>
	改善(A)	<p>【4年度における取り組みなど】</p> <p>昨年度より利用者に安心して利用していただけるよう車内の抗菌加工の実施、運転席仕切りスクリーンの設置等感染予防対策を実施しているが、引き続き運行事業者と協議し、国や大阪府の措置に準じた適切な感染予防に万全の対策を講じていく。</p>
	委員会意見	<p>【評価等に対する意見】</p> <p>委員会評価</p>

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



令和 3 年度分	担当課	危機管理課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保	
事業名	泉佐野市大防災訓練	
事業概要	【最終予算額：1,330,846円】 【決算額：1,189,176円】	
	11月第一日曜日の「市民防災の日」に市域全体で地域の自主防災組織を主体とした大防災訓練を実施する。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防災訓練参加人数									
		KPI： 5年後に5,000人(700人の増加)									
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	4,300人	4,500人	4,600人	4,700人	4,800人	5,000人	累計	↑	なし
		実績値	4,300人	5,615人							
		達成度	100%	125%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		防災訓練参加人数の増加から、地域を主体とした訓練の進展度を測ることができるため。					例年の増加割合を踏まえて合理的な目標値を算出したもの。				
		②目標事項：		KPI：							
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		③目標事項：		KPI：							
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】									
		担当課評価	自主防災組織は情報収集や伝達、地域の避難誘導など種々活動を同時に行うことが必要であり、市域全体で実施する大防災訓練を毎年繰り返し行うことで、実践的な活動が見込めるように育成されている。また、地域住民は訓練参加により、防災について正しい知識を着実に習得されてきている。令和3年度末現在で、自主防災組織は82町会中77町会で結成。								
	改善(A)	【4年度における取り組みなど】 市民防災の日に大防災訓練を実施し防災意識の高揚を促す。また、大防災訓練に参加した自主防災組織への補助金を増額し防災訓練の機運を高め、活動の促進を図る。									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	危機管理課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保	
事業名	地域防災の担い手の確保	
事業概要	【最終予算額：3,232,074円】 【決算額：1,592,184円】	
	災害等に関する正確な知識を取得し、地域における防災・減災リーダーの育成を図るため、防災士資格取得研修を実施する。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防災士の資格取得人数（累計）									
		KPI： 5年後に486人									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	366人	406人	426人	446人	466人	486人	累計	↑	なし
		実績値	366人	479人							
		達成度	100%	118%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		防災士資格取得者数を、地域防災の担い手の育成状況を測る指標とする。					受講者が例年同水準にて推移していることから、毎年度20人増加する目標値を設定。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価(C)	【3年度評価】									
		担当課評価	本市の防災と危機管理に寄与することを目的とした、日本防災士機構が認証する防災士資格取得者を増やすことができた。市内在住の防災士を増やすことで、地域防災力の向上を期待することができる。・各年度末資格取得者数の推移は、H28：37人、H29：231人、H30：304人、H31：366人、R2：423人、R3：479人								
		A									
令和3年度	改善(A)	【4年度における取り組みなど】									
		引き続き、防災力を高める活動が期待される防災士の資格取得を積極的に促進する。また、市内在住の防災士育成のため、知識と技能習得のためのフォローアップ研修を実施する。									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課・危機管理課
----------	-----	---------------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保
事業名	地域の絆づくり登録制度
事業概要	【最終予算額：9,162,000円】 【決算額：8,829,000円】 災害時の避難に不安がある方（避難行動要支援者）に、あらかじめ市に登録していただき、地域の支援団体（自主防災組織）や関係機関（警察・消防・社会福祉協議会〈左記3機関とは協定締結済〉）とその情報を共有し、平常時の見守りや災害が発生したときの避難支援活動、安否確認に役立てる。 対象者の抽出、登録届出書兼同意書の送付及び同意者の登録を地域共生推進課にて行い、登録情報の提供に関わる協定の締結と各機関への避難行動要支援者名簿の提供事務を危機管理課が行う。また、発災時には迅速かつ適切な避難支援活動を実施する必要があることから、個別計画の作成を支援団体は名簿をもとに社会福祉協議会と連携して作成する。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 避難行動要支援対象者の同意・不同意確認者数割合																																	
		KPI： 5年後に72.0%																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>67.7%</td> <td>68.0%</td> <td>69.0%</td> <td>70.0%</td> <td>71.0%</td> <td>72.0%</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>67.7%</td> <td>75.3%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td>110.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	67.7%	68.0%	69.0%	70.0%	71.0%	72.0%	累計	なし	実績値	67.7%	75.3%					達成度	100.0%	110.7%					→
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																						
		目標値	67.7%	68.0%	69.0%	70.0%	71.0%		72.0%	累計	なし																								
		実績値	67.7%	75.3%																															
		達成度	100.0%	110.7%					→																										
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																
		市・社協及び自主防災組織が連携し、当事業の更なる周知を図り、入れ替わりの激しい避難行動要支援者となり得る者の意思確認をいかに進めていけるかの指標となる。	過去の増加率が横ばいのため、合理的に算出した結果																																
		②目標事項： 自主防災組織との協定締結率																																	
KPI： 5年後に100%																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>54.5%</td> <td>70.1%</td> <td>77.9%</td> <td>85.7%</td> <td>93.5%</td> <td>100%</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>54.5%</td> <td>62.3%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td>88.9%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	54.5%	70.1%	77.9%	85.7%	93.5%	100%	累計	なし	実績値	54.5%	62.3%					達成度	100.0%	88.9%					↗		
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																								
目標値	54.5%	70.1%	77.9%	85.7%	93.5%		100%	累計	なし																										
実績値	54.5%	62.3%																																	
達成度	100.0%	88.9%					↗																												
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																		
地域における災害時の避難支援活動、安否確認に役立てる名簿の提供状況を把握することにより取り組みの進捗を確認する。	令和3年度から令和7年度までの5カ年で市内自主防災組織との協定締結を完了することを目標として設定した値																																		
③目標事項：																																			
KPI：																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度									
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																								
目標値																																			
実績値																																			
達成度																																			
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																		
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課評価 C 要支援者名簿を作成し、地域の支援団体77組織中、48組織と協定を締結し名簿の提供を行った。 ・各年度契約締結数は、H27：16団体、H28：9団体、H29：9団体、H30：2団体、H31：6団体、R2：0団体、R3：6団体 ・各年度末同意登録者数の推移は、H28：2347人、H29：2464人、H30：2762人、H31：2697人、R2：2989人、R3：3124人																																	
		【4年度における取り組みなど】 あらゆる機会を活用して制度説明を行うなど広く理解を求め、登録者数及び地域の支援団体の増加を図る。																																	
		【評価等に対する意見】 委員会評価																																	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	学校教育課
----------	-----	-------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保
事業名	防災教育の充実（被災地訪問、ジュニア防災検定）
事業概要	【最終予算額：1,607,000円】 【決算額：1,587,600円】 児童・生徒の防災意識の向上を図るため、「被災地訪問事業」の実施や、小学4年生児童対象に「ジュニア防災検定」に参加する。

計画（P）→実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 被災地訪問派遣人数																																		
		KPI： 5年間で120人																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>35人</td> <td>-</td> <td>30人</td> <td>60人</td> <td>90人</td> <td>120人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>35人</td> <td>0人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">累計</td> <td rowspan="2">→</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	35人	-	30人	60人	90人	120人			実績値	35人	0人					累計	→	達成度	100%	0.0%				
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	35人	-	30人	60人	90人		120人																											
		実績値	35人	0人					累計	→																										
		達成度	100%	0.0%																																
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		この数値の把握により、被災地の見学や被災当時の話を聞くことなどを通して、防災意識の向上をめざした防災教育の充実が図られているかの指標になると考えるため。	令和元年度の被災地訪問派遣人数を規準に設定した値 今後、被災地とのリモート交流の実施も検討																																	
		②目標事項： ジュニア防災検定受検者数																																		
KPI： 5年間で3700人																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>806人</td> <td>840人</td> <td>1590人</td> <td>2300人</td> <td>3000人</td> <td>3700人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>806人</td> <td>840人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">累計</td> <td rowspan="2">→</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	806人	840人	1590人	2300人	3000人	3700人			実績値	806人	840人					累計	→	達成度	100%	100.0%						
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値	806人	840人	1590人	2300人	3000人		3700人																													
実績値	806人	840人					累計	→																												
達成度	100%	100.0%																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
この数値の把握により、子どもたちが日常から防災と減災に関心をもち、意識を高め、考え判断し行動できる防災力を高めているかの指標になると考えるため。	令和元年度のジュニア防災検定受検者数と、令和3年以降の小学4年生の見込児童数を規準に設定した値																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】																																		
		担当課評価	被災地訪問事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業が中止となった。「筆記試験」「家族防災会議レポート」「防災自由研究」から構成されるジュニア防災検定の、小学4年生の全児童の参加により、子どもたちの「防災力」を養うとともに、家族で防災に取り組む機会を提供することができた。																																	
		B																																		
令和3年度	改善（A）	【4年度における取り組みなど】																																		
		市内小中学校において、防災教育を命を守ることをベースとしながら、災害発生の理屈を知ること、社会と地域の実態を知ること、備え方を学ぶこと、災害発生時の対処の仕方等を学ぶこと、それらを実践にうつすことをめざして、各校にて発達段階に応じて学習を位置付けて取り組みを進める。また、ジュニア防災検定の継続的な取り組みや、被災地訪問の実施により、防災教育のさらなる充実を図る。																																		
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】																																		
		委員会評価																																		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	環境衛生課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	都市基盤の再構築	
具体的施策	③エネルギーの地産地消	
事業名	泉佐野電力及び泉佐野ガスの運営	
事業概要	【最終予算額：－】 【決算額：－】 一般財団法人泉佐野電力、及びその子会社である一般財団法人泉佐野ガスの運営を通して、公共施設等に電力及びガスを供給。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 調達電力に対する再生可能エネルギーの割合																																
		KPI： 5年後に50%																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>22%</td> <td>32%</td> <td>37%</td> <td>42%</td> <td>47%</td> <td>50%</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↑</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>22%</td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>62.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	22%	32%	37%	42%	47%	50%	累計	↑	実績値	22%	20%					達成度	100%	62.5%				
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	22%	32%	37%	42%	47%		50%	累計	↑																							
		実績値	22%	20%																														
		達成度	100%	62.5%																														
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		全調達電力に関する再生可能エネルギーの割合。温室効果ガスの排出削減に関する取り組みの進捗状況を示す指標となります。 令和元年度実績（経営状況報告書より） 全調達電力：15,971.212kWh 再生可能エネルギー：3,624.548kWh	令和元年度実績を基準に、毎年度5%の増加、最終的に50%達成を目標とする。																															
		②目標事項：																																
		KPI：																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度						
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																										
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度								
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	

令和3年度	評価 (C)	【3年度評価】 担当課評価 C 令和3年度は、高圧の公共施設で、新たな4施設（上之郷コミュニティセンター、泉州南部初期急病センター、日根野浄水場、泉ヶ丘配水場）の供給を開始し、計48施設、低圧295施設で合計343施設に電気を供給した。
	改善 (A)	【4年度における取り組みなど】 令和4年度は、民間事業者と協力して、ため池太陽光発電施設の建設・運営を計画しており、令和5年2月28日までに稼働する予定。これにより令和5年度では、全調達電力に対する再生可能エネルギーの割合は、約40%となる見込み。
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	健康推進課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	④高齢者の健康づくり	
事業名	健康マイレージ事業	
事業概要	【最終予算額：968,000円】 【決算額：670,406円】 健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診など、健康づくりへの取り組みに対し、泉佐野地域ポイント（さのぼ）の付与を行い、健康づくりへの積極的な参加促進を図ることを目標にしている。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 健康マイレージの参加者数																																		
		KPI： 年5%の参加者の増加を目標とする																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>208人</td> <td>294人</td> <td>309人</td> <td>324人</td> <td>340人</td> <td>357人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>352人</td> <td>429人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">単年度計</td> <td rowspan="2">↗</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>169.23%</td> <td>145.91%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	208人	294人	309人	324人	340人	357人			実績値	352人	429人					単年度計	↗	達成度	169.23%	145.91%				
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	208人	294人	309人	324人	340人		357人																											
		実績値	352人	429人					単年度計	↗																										
		達成度	169.23%	145.91%																																
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		健康マイレージの交換者数により、健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診率の向上など、健康づくりへの関心度がわかる。	R元年度に総合計画の目標を達成したため、改めて目標値を見直し、R2年度に下がった見込数値（280人）から年間5%（H26～R元年度の対前年比平均）の参加者数の増を目標とした。																																	
		②目標事項：																																		
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】																																		
		<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>参加者の増加に向け、制度の周知や参加しやすい工夫等に努める。マイレージ目標ポイント達成者は、新型コロナウイルスのワクチンが普及した後（第1期の後半）から、少し増加傾向になった。令和3年度は429人となる。第1期の目標達成者は、令和2年度は313人、令和元年度は352人、平成30年度は252人、平成29年度は196人、平成28年度は161人、平成27年度は157人であった。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	参加者の増加に向け、制度の周知や参加しやすい工夫等に努める。マイレージ目標ポイント達成者は、新型コロナウイルスのワクチンが普及した後（第1期の後半）から、少し増加傾向になった。令和3年度は429人となる。第1期の目標達成者は、令和2年度は313人、令和元年度は352人、平成30年度は252人、平成29年度は196人、平成28年度は161人、平成27年度は157人であった。	B																															
	担当課評価	参加者の増加に向け、制度の周知や参加しやすい工夫等に努める。マイレージ目標ポイント達成者は、新型コロナウイルスのワクチンが普及した後（第1期の後半）から、少し増加傾向になった。令和3年度は429人となる。第1期の目標達成者は、令和2年度は313人、令和元年度は352人、平成30年度は252人、平成29年度は196人、平成28年度は161人、平成27年度は157人であった。																																		
	B																																			
改善（A）	【4年度における取り組みなど】																																			
	新型コロナウイルス感染症は現在も増加の傾向にはあるが、個人で健康に留意し日常生活を送り、健康に関心を持ってもらえるような工夫や広報等に努める。また、幼稚園、こども園、保育園、PTA等への周知方法をより強化し、内容を充実させ、魅力ある健康づくり事業として市民に広げられるように啓発に努める。																																			
委員会意見	【評価等に対する意見】																																			
	委員会評価																																			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課
----------	-----	---------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	④高齢者の健康づくり
事業名	介護予防事業
事業概要	【最終予算額：47,630,000 円】   【決算額：37,306,000円】 要介護状態への予防のための運動機能向上プログラムを実施するロコトレ教室等や、カラオケ機器を利用した介護予防プログラムの実践にて、介護予防・認知症予防・健康づくりに取り組むとともに、地域住民の生きがいの場を広げ、コミュニティの創出と活性化を図る音楽介護予防教室（泉佐野元気塾）により、高齢者が自立した日常生活を営むことを図る。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 音楽介護予防教室参加者数									
		KPI： 5年後に10,400人									
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	10,412人	9,350人	9,600人	10,000人	10,200人				10,400人
		実績値	10,412人	4,303人					単年度計	↗	
		達成度	100%	46.0%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		健康づくり（介護予防）に取り組む地域の拠点としての役割が大きい事業であり、参加者数を把握することで、市民の介護予防意識の向上の状況がわかる。					コロナ禍で元気塾開催を見合わせている状況を考慮し、令和元年度の実績値より低い目標値から、毎年2%前後の増加を目標とした。				
		②目標事項： ロコトレ教室参加者数									
		KPI： 5年後に40人									
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値	12人	20人	25人	30人	35人				40人		
実績値	12人	16人				単年度計	↗				
達成度	100%	80.0%									
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
介護予防及び地域での自立した日常生活支援を目的に実施している事業であり、参加者数を把握することで、市民の運動機能向上の取組み状況がわかる。					令和元年度の実績をベースに、毎年5名ずつ増加することを目標とした。						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値						単年度計					
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】 担当課評価 <b>C</b>	一時コロナ禍で半年間中止を余儀なくされたこともあり、合計参加者数の減となったが、感染対策をしっかりと行った上で現在は実施している。音楽介護予防教室については中止中も、動画制作しホームページで公開したり、講師である市民音楽健康指導士らで元気塾だよりを作成し町会等に配付することにより、自宅での介護予防の促進を行った。ロコトレ教室に関して、これまでのケースについて振り返りを行った。サービス利用後、通いの場等自立した生活につながっていないケースが散見されたため、サービス利用中から通いの場につながるよう支援できる体制づくりをおこなった。
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】 音楽介護予防教室は月2回実施の会場を含め、月のべ72回の教室を開催している。再開直後は少なかった参加者も徐々に増えてきており、コミュニティの場としても活気が戻ってきている。今後は市民音楽健康指導士のスキル維持・向上を目指し、更なる連携を図っていく。ロコトレ教室は、定員を増やし、サービス終了後の具体的取り組みに対する支援（セルフモニタリング・トレーニングの指導、地域資源への参加支援、関係者との情報共有等）を行っていく。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	自治振興課
----------	-----	-------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	⑤地域づくり
事業名	防犯推進事業
事業概要	【最終予算額： 10,140,000円】 【決算額： 6,857,000円】
	地域の街頭犯罪等を未然に防止するため、町会等が、自ら管理するLED式防犯灯を整備（新設及び蛍光灯式からLED式への更新）する事業に対し補助金を交付することにより、地域住民の自主防犯意識の高揚に寄与することを目的とする事業。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防犯灯のLED化率									
		KPI： 5年後に100%									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	60%	80%	90%	100%	100%	100%			
		実績値	63.1%	72.5%					累計	↑	
		達成度	105.17%	90.63%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		町会等によるLED式防犯灯整備事業の成果を測る指標である。					町会等が管理・整備する全ての防犯灯のLED化率100%を早期に達成するため、年間10%程度の向上を目標とする。				
		②目標事項：									
		KPI：									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	【3年度評価】									
		担当課評価	令和2年度の実績値67.9%であり、4.6%の増加。 町会連合会加盟82町会中、LED化率100%=7町会。90%以上100%未満=22町会。80%以上90%未満=14町会。								
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】 本事業について、令和4年度も泉佐野市防犯推進事業費補助金(LED式防犯灯新設・更新事業)により事業を継続する。LED化率は増加傾向にあるが、不特定多数の者が往来する街路等を照らし、市内における街頭犯罪を未然に防止するため、さらなる防犯灯LED化を促進する。特に既存の蛍光灯式防犯灯からLED式防犯灯への更新を促進する。LED化を促進することにより、防犯灯にかかる電気料金が安価となり、同補助金防犯灯電気料金負担事業についても支出を抑える効果を見込む。									
		委員会意見	【評価等に対する意見】								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



令和 3 年度分	担当課	自治振興課
----------	-----	-------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	⑤地域づくり
事業名	町会連合会の加入促進事業への補助金
事業概要	【最終予算額： 17,138,000円】 【決算額： 13,871,000円】
	町会連合会が主体的に実施する加入促進事業のうち、町会連合会を構成する町会等が、その加入世帯に配布する町会活動促進袋（市認定家庭系可燃ごみ袋）を調達（製作・保管・配送）する事業に対し補助金を交付することにより、加入率向上に寄与することを目的とする事業。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 町会加入率									
		KPI： 5年後に67%									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	61%	63%	64%	65%	66%	67%	累計	↑	
		実績値	58.7%	57.6%							
		達成度	96.23%	91.43%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		町会連合会による加入促進事業の成果を測る指標である。					近年、単身世帯の増加等を要因として、町会加入率は下落傾向にあるが、補助金の交付その他の支援を継続することにより、毎年1%程度の向上を期待するもの。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和3年度	評価（C）	【3年度評価】	
		担当課評価	町会活動促進袋（市認定家庭系可燃ごみ袋）配布が加入率増加に即効性のある事業ではないが、町会・自治会会員のメリットになっている。加入率減少の原因については、算出方法を含め分析が必要である。 令和3年度事業実績 泉佐野市町会連合会加盟82町会中82町会で実施。（年間12回配布）
	改善（A）	【4年度における取り組みなど】 本事業について、令和4年度も活動促進袋調達事業の実施主体である泉佐野市町会連合会が、泉佐野市町会連合会事業費補助金により事業を継続する。その他の加入勧奨活動としては、新規加入世帯に対する「さのぼ」ポイント付与事業を継続、市職員が町会・自治会役員に同行して行う未加入世帯への加入勧奨活動及び町会・自治会へのインセンティブとして、新規加入世帯1世帯あたり5,000円の報奨金（新規加入割）交付する制度を継続し、引き続き加入勧奨を進める。	
委員会意見	【評価等に対する意見】		
	委員会評価		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課
----------	-----	---------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	⑤地域づくり
事業名	認知症支援事業
事業概要	【最終予算額： 9,283,000円】 【決算額： 7,562,000円】
	超高齢社会において、認知症高齢者が急増しているが、認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人の意思が尊重され、認知症の人が認知症と共によりよく生きていけるよう、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現をめざします。具体的には、認知症支援推進員を中心に、認知症サポーター養成講座の開催等による地域での認知症への意識啓発活動や、本人・家族支援、予防活動等、認知症にやさしい地域づくり等に努める事業。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 認知症サポーター養成講座																																		
		KPI： 5年後に9,500人																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>6,913人</td> <td>7,500人</td> <td>8,000人</td> <td>8,500人</td> <td>9,000人</td> <td>9,500人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>6,913人</td> <td>7,391人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">累計</td> <td rowspan="2">↑</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>98.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	6,913人	7,500人	8,000人	8,500人	9,000人	9,500人			実績値	6,913人	7,391人					累計	↑	達成度	100%	98.5%				
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	6,913人	7,500人	8,000人	8,500人	9,000人		9,500人																											
		実績値	6,913人	7,391人					累計	↑																										
		達成度	100%	98.5%																																
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		この数値を把握することで、市民の認知症に対する正しい知識と理解の向上の進捗状況がわかる。	令和元年度の実績をベースに、毎年500人を対象に養成講座を実施することを目標として設定した。																																	
		②目標事項：																																		
		KPI：																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度						
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																												
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			

令和3年度	評価 (C)	【3年度評価】 担当課 評価 <b>B</b>	認知症サポーター養成講座は、泉佐野市内の認知症キャラバンメイトと協力し、サポーターを増やしている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策を行いながらできる限り実施してきたものの、目標値に到達しなかった。
	改善 (A)	【4年度における取り組みなど】 泉佐野市内の認知症キャラバンメイトと協力し、認知症の理解を地域住民に広める活動を行い、今後も認知症サポーターを養成していく	
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会 評価	

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	地域共生推進課
----------	-----	---------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	⑤地域づくり
事業名	地区福祉委員会活動の支援（ふれあいのまちづくり事業）【再掲】
事業概要	【最終予算額：12,007,000円】 【決算額：12,007,000円】
	地区福祉委員会が主催する高齢者や障害者等への見守り訪問活動【個別支援活動】や孤立防止や地域での仲間づくり、介護予防等の目的で開催する交流会や高齢者サロン活動【グループ支援活動】の支援を行う。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 個別支援活動実施世帯数									
		KPI： 5年後に2,160世帯/年									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	2,116世帯/年	2,120世帯/年	2,130世帯/年	2,140世帯/年	2,150世帯/年	2,160世帯/年	単年度計	↑	
		実績値	2,116世帯/年	2,236世帯/年							
		達成度	100%	105.5%							
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		各地区福祉委員会において実施している個別支援活動の実施世帯数を把握することで、要援護者への支援活動の進捗状況がわかる。					コロナ禍で個別支援活動を一部制限している状況を考慮し、令和元年度の実績値をベースに、毎年10世帯ずつ増加させることを目標とした。				
		②目標事項： グループ支援活動回数									
		KPI： 5年後に2,800回/年									
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	2,761回/年	2,760回/年	2,770回/年	2,780回/年	2,790回/年	2,800回/年	単年度計	↑			
実績値	2,761回/年	1,554回/年									
達成度	100%	56.3%									
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
各地区福祉委員会において実施しているいきいきサロンや世代間交流会などのグループ支援活動の回数を把握することで、地域住民同士がつながりを持つことができる機会の進捗や、支援体制の広がりがわかる。					コロナ禍でグループ支援活動の開催を見合わせている状況を考慮し、令和元年度の実績値をベースに、毎年10回増加させることを目標とした。						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和3年度	評価（C）	（3年度評価）									
		担当課 評価	コロナ感染拡大の影響により、グループ支援活動の中止を余儀なくされているため、コロナ禍以前より活動回数が減少しているが、令和2年度と比べ徐々に増加傾向となっている。なお、個別支援活動については、感染対策を行い継続的に行った。								
		C									
令和3年度	改善（A）	【4年度における取り組みなど】									
		予定していた活動がコロナにより開催中止となっている。しかし感染リスクを軽減した中で、ICTの活用を行った開催や人数制限を行った開催をすることで、前年度より開催数は増加している。今後も感染リスクを軽減した開催を支援して行く。									
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 3 年度分	担当課	まちの活性課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	スマートシティの推進	
具体的施策	⑥行政・地域のデジタル化	
事業名	キャッシュレスや地域通貨の活用推進	
事業概要	【最終予算額：16,500,000 円】 【決算額：16,500,000 円】	
	官民連携による地域ポイント「さのぼ」を通じて、地域外への経済流出を防ぐこと、及び新たな地域内経済への流入を増やすことで、地域内経済循環を高めることで、自立した地域経済の活性化を図るもの。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地域内消費額										
		KPI： 5年後に30億円										
		現状値 (R元年度)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	10億円	20億円	22億円	25億円	27億円	30億円	累計	↑		
		実績値	13.3億円	28.8億円								
		達成度	133%	144.0%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		地域内消費額が当該事業の評価に直結するものと考え					過去の伸び率を参考に目標値を設定					
		るため										
		②目標事項： カード会員数										
		KPI： 5年後に45,000人										
		現状値 (R元年度)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	30,000人	35,000人	37,000人	40,000人	43,000人	45,000人	累計	↑		
		実績値	25,799人	34,008人								
		達成度	86%	97.2%								
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
利用者が当該事業の効果性の評価に直結するもの					最終目標を人口の概ね50%と設定し、5年間で割り戻した							
と考えているため					数値を各年度で設定							
③目標事項：												
KPI：												
現状値 (R元年度)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
令和3年度	評価 (C)	【3年度評価】										
		担当課 評価		運転免許証返納者やコロナワクチン3回目接種者へのポイント付与を行うことで、消費額・会員数ともに順調に伸びた。								
		A										
令和3年度	改善 (A)	【4年度における取り組みなど】										
		前年度から引き続きワクチン接種者へのポイント付与などの目玉施策で会員増に取り組みるとともに、決済端末をこれまでの固定型からモバイル型に変更するなど、事業者側に対しても効率的にポイント処理ができるような取り組みを通して取扱店舗の増加もめざしていく。										
令和3年度	委員会意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。